One MIZUHO

2022年12月23日

通貨ニュース

インドネシア: 12 月金融政策会合~今後の 政策運営の透明性も重要に

インドネシア銀行(中央銀行、BI)は 21~22 日に開催した金融政策会合で、政策金利の 7 日物リバースレポレートを従来の 5.25%から 25bps 引き上げて 5.50%とした(図表 1)。上限金利の翌日物貸出ファシリティ金利と下限金利の翌日物預金ファシリティ金利も同じ幅だけ引き上げてそれぞれ 6.25%、4.75%とした。BI は 5 会合連続での利上げを決定し、利上げ幅は 11 月会合の 50bps から 25bps に引き下げた。なお、ブルームバーグの事前予想では 25bps の利上げ が優勢であった。

声明文及びペリーBI 総裁の会見では、23 年の世界景気成長予想について言及。従前は前年比+3.0%としていたものの、インフレや各国の金融引き締め状況を勘案して、同+2.6%に下方修正した。国内経済については引き続き PMI や小売売上高をはじめ複数の経済指標で国内経済の回復が順調に進んでいる状況が示唆されており、22 年の成長率は従来の予想レンジである前年比+4.5~+5.3%の上限付近となるとの見方に変更はなかった。また、23 年については 22 年と同様に、前年比+4.5~+5.3%のレンジ内の中央付近と予想した。現状の見通しでは景気減速懸念が燻る中でも国内経済の回復は堅調に進むといった見解を示している。

消費者物価指数(CPI)は直近において BI の定める目標レンジ(+2.0%~+4.0%)の上限を6か月連続で上振れた(図表 2)。とは言え、11月 CPI は前年比+5.4%と10月の同+5.7%から2か月連続で減速しており、今回の利上げ幅縮小に至ったものと考えられる。なお、食料品・燃料価格を除くコア CPI は同+3.3%と10月からピークアウトの兆候は見られていない。堅調な内需の動向が数字を押し上げていると推測される。

こうした状況下、ペリー総裁は政府・中銀が一体となって引き続き対応していく方針を表明。今回の利上げについても、利上げ幅は縮小したが、インフレ期待の低下と23年後半までに CPI を目標レンジに収束させることに寄与すると述べた。この他、ペリー総裁は市場でのドルとルピアの供給バランスを調整していくなど IDR の安定化を引き続き注視する姿勢を示した。

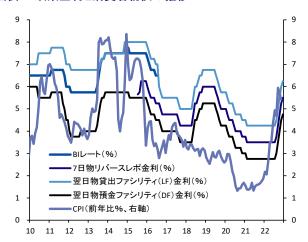
以上、BI のインフレに関する対応方針には大きな変化はなかったと総括できるが、声明文内で国内経済の成長促進を目指す旨の言及が見られた点に触れておきたい。本来の中央銀行の役割からは逸脱する印象を受けるが、これは今月中旬に議会が、中央銀行の責務を拡大する金融部門開発・強化法案を可決し、大統領が危機的状況と宣言した際に中央銀行による国債の直接買い入れ(財政ファイナンス)を事実上容認したことと関係があると考えられる。BI はコロナ禍において、特例で財政ファイナンスを継続してきたが、景気がコロナ前の水準を回復した以上、本来はこの対応を手仕舞いするような検討がされるべきと思われる。財政ファイナンスの状況はこれまでも都度公表されてきたものの、

市場営業部 マーケットエコノミスト 堀 尭大 03-3242-7065 takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp



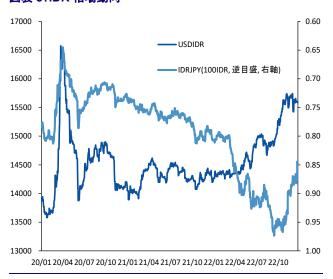
これが常態化すれば中央銀行の独立性に疑義が生じ、最終的には通貨の信認を毀損することにもなりかねない。11 月のドル高修正局面以降、多くのASEAN通貨が持ち直しを見せている中で、IDRが軟調であるのにはこうした点が評価されているようも思われる(図表 3)。こうした背景からも BI の政策運営は一層透明性が要求されることになりそうだ。

図表 1: 政策金利と消費者物価の推移



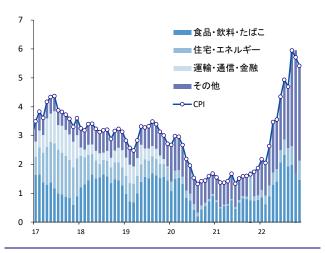
出所:インドネシア銀行、Bloomberg、みずほ銀行

図表 3:IDR 相場動向



出所:Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価の動向(前年比%、%ポイント)



出所: CEIC、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。